

守る会ニュース

第2号

2017.12.4
成田市和田 141
守る会発行

秋葉「事件」の「今」

ようやく送検

舞台はいよいよ千葉地検へ

10月26日、書類はようやく成田警察署から千葉地方検察庁に送られました。秋葉さんへの取り調べが終わってからすでに2ヶ月近くも経過。その後、さらに1ヶ月たっても、千葉地検から何の連絡もありません。理不尽な刑事告発を受けて、これまでの日常を大きく変えられた秋葉さんの気持ちを思うと関係機関の悠長な動きに怒りさえ湧いてきます。

いずれにしても、舞台は千葉地方検察庁に移りました。近いうちに秋葉さんへの呼び出し・取り調べが予想されます。私たちは「守る会」として地検への要請行動に入っていきます。

千葉県教育委員会へ正式申し入れ

県教委は、なぜ、勧告から1年も経過した後に刑事告発したのか、また秋葉さんに関する間違った情報が新聞報道されたことなどについての県教委の見解を質す申し入れ

書を10月24日、弁護士名で正式に申し入れ(別紙 複写)をしました。

「11月末日までに文書による回答を」と要請していますが、11月30日現在、回答は届いていません。

「秋葉幸一さんを守る会」

ホームページが開設

「秋葉幸一さんを守る会」で検索を

インターネットは苦手だという方はぜひ、ご家族、友人、知人の皆さんに紹介して下さい。秋葉さん本人のご努力(猛勉強で)で、使い勝手がよくて分かりやすいホームページ(H.P.)が開設されました。

このHPを通して、日本中の人々に今回の「事件」のいきさつや「守る会」の主張が届けられます。共感して下さる方々からの声も私たちへ寄せることができます。HPを通して、「守る会」へ入会してもらう工夫も、支援募金を寄せてもらう工夫もされています。

会員専用サイトも

ユーザー名 ***** パスワード ***** で入れます。

専用サイトの表示画面は2年前の

安保法制(戦争法)反対の国会前大集会の写真です。東京新聞の1面の写真です。(写真使用料支払い済) 掲示板では会員同士の意見交換、情報交換ができます。会員間で大いに、思いを語り合いましょ。

会員数は今

11月末現在会員は53名に達しました。会員外の募金者も10名、ブロッコリーを通して募金してくれた人を含めると20名を超えます。さらに会を広げていきましょう。

舞台「焼け跡から」ぜひ鑑賞を

12月7日(木) 成田国際文化会館大ホール 18時半 開演 事前申込み 3000円(当日500円増) 0476-96-2204(長寿院 篠原)

守る会会員の篠原鋭一氏たちが全国で進めている上演運動です。成田での公演が最終です。きわめてきな臭くなったこの時代に、みんなで平和を、戦争を考えたいです。幹事会で、この上演運動に積極的に協力することを確認しました。

ブロッコリーも応援

会員の大木良雄さんの5反歩の畑(成田市赤荻 写真)ではブロッ

コリーが栽培され今、収穫期です。大木さんのご厚意で売り上げの大部分は「守る会」へのカンパです。先日「成田市産業まつり」では出荷した千個が瞬く間に完売とのこと。会員や会員の友人、知人の皆さんには1個50円で分けてもらえます。先日、新宿近くの青果店には230円で同じぐらいのものが店先に並んでました。

次に植え付けるネギ苗もハウス内で出番を待っていますので、12月10日頃で収穫は終了し、未収穫のブロッコリーは残念ですが土に返すことになります。



生産者 大木良雄 (090-8111-7071)

守る会の皆様へ

秋葉幸一

2017年8月25日、私を守る会が発足し、3ヶ月近くになります。その間、守られてきた私の心境の変化などを幾つかお話ししたいと思います。

まず、この会の発足に関わり、私の小学校1・2年次の担任の先生（S・Mさん）及び中学校1年次の担任の先生（E・Sさん）が、この会に入ってくれたことです。

半世紀近く、あるいは半世紀を超えて私のことを覚えていてくれた先生方の消息を知ったときは、感動を超えた喜びでした。

私は半世紀たつても本質的に変わっていないと思います。そして先生方も私と同じような感性で、ずっと生きてきたんだなと思いました。だから私も先生方のことを覚えている。先生方も私のことを覚えていてくれたのだろうと。半世紀たち、街頭で出会ってもお互いにわからないかもしれない。けれど感性は一生変わらない。信念は変えられない。生徒の個人情報（結果的に）持ち出し、目的外使用したといって大騒ぎしているが、そんな軽率なこととは先生方にたしなめられれば、それで終わり。一時的なことです。

個人情報をも目的外のことに使うことは悪いが、そうさせた信念は決して間違っていないということを先生方に認めてもらったようで、私にとって大きな励みになりました。

次に今回の件に関わり、ある人からの支援のいきさつを紹介します。その人は新聞で私の件を知り、退職し連絡先もわからない私へのエールを1枚の葉書にしたため、私の元職場である成田北高校宛に送った。

（添付写真参照）
学校は元職員の連絡先を差出人に教える返信は多分しないだろう。あるいは、そのまま送り返したのかも。知らない。結局、学校を通しては私の手元に届かなかった。

知人が、この葉書の存在を教えてくださいなれば、私と同じように体制側の権力に抗う人の存在を知らなかっただろうし、共に闘っていこうという応援による連帯感もなかっただろう。

なによりも嬉しかったことは、教え子か一般の人だかわからない一市民が声を上げていく事で、守る会の運動の可能性を示唆してくれたことです。

2ヶ月近く経った現在、学校からの連絡は未だにない。

なんとナサケナイ世の中になってしまったことか。当たり前だが、ワープロで *nasakenai* を変換すると「情け」「ない」と出る。今回の刑事告発を暗示するかのよう。

現在、「守る会」会員53名十カンパによる賛同者10名。多くの思いを感謝と共に感じています。そして、本当は私個人を守るのではなく、お互いに守りあう会なのだというところを、ここ3ヶ月の間に感じるようになりまし。私はその一員であつて、全うな生き方が出来るように応援してもらっているのです。

記者会見時、ある新聞社が「略式起訴でも闘うのか」と質問してきました。現在、幹事の皆様が検討しているところですが、当事者である私はここに明言したいと思います。

「守る会」は皆さん方のもので、最終的には皆さんの総意に従います。ですが、個人的には「ナサケナイ」幕引きにはしたくない。つまり罰金さえ支払えばいいという、不明瞭でふがいない結末を良しとして、皆さ

んは入会金やカンパを拠出したのではないと思うからであり、不起訴でない限り抗うのが正義だと思っています。

裁判ともなると、厄介で煩わしいことがずっと続くのでしよう。金銭的にも大変です。そんなことで時間を費やすのも癪ですが、そうとばかりとは言えません。

今回の件で、小学校時代の先生はじめ、多くの人とのつながりを持たせてもらいました。大袈裟ですが、自分のルーツを確認し、自身の立場がハッキリしました。

人を動かすのは思いであり、情です。情のないものには従えませんが、抗議もします。

「守る会」の皆様には、その勇気をいただき、大変感謝しています。

私は船橋で看護師を
いる二児の母です。
先生への見せしめ 刑事告発の
報道をみて、先生は正しいと
思ったこと、私も職場で「聞い
ぬくので先生も負けずに闘っ
たい」と思い、応援している意
を伝えようと思ったこと、にっさ
がされて、ハンをとりました。
定年退職されているとのこと
で、どちらに手紙を出したら
いいのかかわからず、成田北
高校に出させていただきました。
すみません。

届かなかったエール

平成29年10月24日

〒286-0202

千葉県富里市日吉倉3007-9

弁護士法人房総法律 成田事務所

電話 0476-91-3481

FAX 0476-91-3459

秋葉幸一代理人弁護士 吉永 雄二

同 後藤 裕造

申し入れ書

元成田北高校教職員の秋葉幸一氏（以下、「秋葉氏」という。）に関して、以下の事項につき、平成29年11月末日までに、文書にて回答を要請する。

1 勧告から約1年間もの時間が経過した後で刑事告発に至った理由について

千葉県教育委員会は秋葉氏に対して、平成28年5月20日付で勧告書を交付している。そして、上記勧告から約1年間もの時間が経過した後である平成29年5月ごろに刑事告発が行われている。

通常では考えられない時間が経過してから刑事告発に至っているが、この間に何があったのか。刑事告発に至る経過等、時系列に沿って回答されたい。

2 生徒個人情報を持ち出した時期について

朝日新聞の平成29年9月14日付及び平成28年4月20日付記事では、秋葉氏が生徒個人情報を持ち出した時期について、同人の「退職間際」とされている（この記事は千葉県教育委員会の発表に基づいている）。

しかし、秋葉氏は成田北高校に平成22年4月から平成27年3月まで在籍しており、転勤2年目の平成23年から学校情報処理業務を遂行するために生徒個人情報を自宅に持ち帰っていた。

千葉県教育委員会は、秋葉氏が生徒個人情報を持ち出した時期につき、どのように把握しているのか。

3 個人情報の目的外収集について

東京新聞の平成29年9月6日付記事によると、秋葉氏の行為は個人情報の「目的外収集」に当たることだが（千葉県教育委員会の教職員課の担当者談）、秋葉氏が在職中及び退職後も個人情報を持って

いたのは、学校情報処理業務を遂行するためであり、目的外収集に当たらないのではないかと。秋葉氏が退職後、成田北高校に情報処理業務引き継ぎのために出向いたこと（平成27年5月に3回位）及び当時の教頭がそのことを黙認していたこと（秋葉氏は教頭がいる前で情報処理業務引き継ぎの作業をしていたこと）を確認していただいたうえで、目的外収集に当たるか否か回答されたい。

4 持ち出された生徒個人情報の数について

朝日新聞の平成29年9月14日付記事によると、秋葉氏に持ち出された生徒個人情報の数は、「約3000名」とされている。

しかし、秋葉氏は成田北高校に5年間しか勤務しておらず、その間に関わった生徒数は約1500名程度だと認識している。

千葉県教育委員会が発表した上記約3000名という数の根拠は何か。

5 学校情報処理業務の運用について

秋葉氏は学校関係の全てのデータを消去している。

その一方で、成田北高校は秋葉氏が退職してから2年半後の現在においても、秋葉氏の開発したマクロプログラムを使用して学校情報処理業務を一部行っていると聞いている。このような運用が続いて何か問題が発生したとしても、秋葉氏は責任を取れないので、現在も成田北高校が秋葉氏の開発したマクロプログラムを使用して学校情報処理業務を行っているようであれば、即刻停止するよう要請する。

以上

（付記）

差出人 〒286-0202
千葉県富里市日吉倉3007-9弁護士法人房総法律

弁護士 吉永雄二

受取人 〒260-8662
千葉県千葉市中央区市場町1-1中庁舎9階

千葉県教育委員会御中



郵便認証司

29. 10. 24

この郵便物は平成29年10月24日
第12461009971号書留内容証明郵便物
として差し出したことを証明します。

日本郵便株式会社

受付通番：2017102416071300100000号

2 / 2 頁



「守る会」サイトのご案内

2017 年 12 月 4 日

I. ホームページ (<http://akiba51.net/>)

秋葉幸一さんを守る会

成田北高個人情報保護条例と戦争法反対署名活動

会則と入会申込みWEB版

トップページ 本人より 活動報告 新聞報道 会員募集 お問い合わせ 会員専用

卒業生に宛てた手紙が掲載されています

前号までの経過報告等です

昨年4月20日から本年9月14日までの各社新聞報道です

問い合わせフォームから会代表にメールが送れます

アクセス制限されたページに飛びます
ユーザー名とパスワードが必要です



トップページ

2016年3月22日、千葉県公立高校を定年退職した教員が教え子である卒業生に対し、手元にあった住所データーを使い、安保関連法案のための署名用紙を手紙と共に郵送した。本ホームページは、この事件に関する元教員とその支援団体の主張である。

ここをクリックすると教室が案内ちらしに。
右の絵をクリックすると劇団のHPにリンク

ブロッコリー販売をクリックすると教室がブロッコリー畑に。
写真をクリックすると道案内が表示されます。12月10日まで。

リンク

- ・ 焼け跡から 成田公演
- ・ ブロッコリー販売
- ・ 民主主義の死んだ日
- ・ 戦争法の廃止を求める統一署名についで

前号で掲載されました。



<http://www.kibou-butai.com/yakeato/index.html>

Copyright © 守る会 All rights reserved.

プライバシーポリシー (個人情報保護に関する約束です)

Ⅱ. 会員専用サイト (<http://akiba51.net/post/>)

秋葉幸一さんを守る会

成田北高個人情報保護条例と戦争法反対署名活動

ホームページ

会員トップ

掲示板

ニュース1号

ニュース2号

焼け跡から

成田北高校

ホームページ > 会員トップ



日本国憲法
第二章 戦争の放棄

第9条「戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認」

① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、
国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、
国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、
これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

写真画像は
東京新聞2015年8月31日付朝刊1面
「座かぬ民意-戦機感熱集」より

会員専用ページ

このページはパスワードで保護された会員専用ページです。
会員間の情報交換や会の運営に資することを目的としています。
幹事への要望、意見等は mamorukai-m@akiba51.net 宛にメールしてください。
また、会員全員へのメッセージやご意見は、このページの掲示板に書き込むことで反映されます。

ホームページ

会員トップ

掲示板

ニュース1号

ニュース2号

焼け跡から

成田北高校

ホームページ：ここをクリックするとホームページに戻ります。

会員トップ：会員専用画面で会のイメージと各ページへのメニューを示します。

掲示板：会員制サイトのブログのようなもので、投稿が可能です。

ニュース1号：前号のニュースがPDFファイルで見られます。

ニュース2号：今回のニュースがPDFファイルで見られます。

焼け跡から：ホームページのトップページにもある、希望舞台・成田公演の正式な
ちらしが印刷できます。

成田北高校：本事件の**被害者**である生徒たちと私が写ったビデオです。(3分39秒)

希望舞台プロジェクト

焼け跡から

西村滋 作『それぞれの富士』より

由井 敷 台本・演出

家族で富士山に登る約束だった…

美術 杜江 良
照明 高橋 康孝
音楽 余田 崇徳

振付け 松延 まさ子
宣伝美術 原 みちを
タイトル 篠原 鋭一

“孤児達は焼け跡で復員兵の和尚さんに出会った…”

昭和三十二年、学童疎開中、東京大空襲で家族を失った子供たちと荒寺を復興しようと発起、新米和尚の物語。

文男（フー公）は今なお行方不明の両親は生きていると思いい、戦争が終わったなら親子三人で富士山に登る約束を信じている。やるんなら勝つ戦争をやれ！と大人の始めた戦争をなじる達平（タツペ）は、防空壕の中で焼け死んだ両親と妹を自分の手で葬った。貞夫も、タタミで眠りたというミ子も、その日の食べものとねぐらを探す同じ孤児であった。寺の跡継ぎを拒否して軍隊に入った大善は、敗走し追われるままに満州の荒野をさまよい復員。お国のために、死ぬ時は一緒に誓った親友の勇敢な戦死を、帰国して知らされた。焼け跡の残骸が残る上野駅の裏側で野良犬のように追い回される孤児グループ「湯田中組」と出逢った大善。残飯を拾い集め、一つのリングをみんなで分け合って食べる孤児たちの姿につき動かされて、信州の自分の寺に来ないかと誘ってしまった。戦争は終わったが、新米和尚と孤児たちの生き

るための戦争が始まった…

あらすじ



平井 愛子



安岡 和弘



米田 亘



森 ひとみ



藤田 尚希



高久 律子



杜江 良



西村 いづみ



井村 倫教



平岡 美保



溝畑 栄神



盛永 さくら



今村 優太

2017年 12月7日(木) 成田国際文化会館・大ホール

0476-23-1331・成田市土屋303

■18時00分開場 ■18時30分開演
(終演20時40分)

■一般前売 / 3,000円 ■高校生以下・障がい者手帳をお持ちの方 / 1,500円
(当日それぞれ500円増/全席自由)

主催 「焼け跡から」を観る会実行委員会

後援 成田市、成田市教育委員会、成田国際空港株式会社

お申し込み 0476-23-1774(高木)、090-2675-9262(篠原)、090-2779-5917(玉井)

「育ち合う」ことのよるいび



高木 正尊
(成田保育園園長)
(成田市・永興寺住職)

私は東京オリンピックを三年後に控えた昭和三十六年の生まれ。したがって戦争を体験していない者の一人である。

そんな私が学童の頃を思い出して。仕事で忙しい中、夕食の煮物を調理していた母が、「近所で二人暮らしのおばあちゃんの家」に「ただで食べて下さい」と持って行って。そう言われて、渋々届けたことが何度かあった。また、近所のおばあさんが、「醤油が無いので、少し分けて下さい。」とわが家に来たこともあった。また、「あらあら、あなたの

「ホントだあ！こんなにいっぱいどこで見つけたの？」ええとねえ、この葉っぱのところにいるんだよ。」虫かごの中には七、八匹のテントウムシ。葉っぱと土も少しずつ入れ

ている。(なるほどいろいろと工夫している。)(ダンゴムシを集めて見せてくれる子どもたちもいる。(いっぱいだと何となく複雑な感じ。))

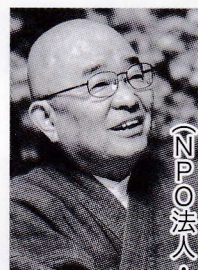
こんな微笑ましい姿もある。室内での手洗いの後、タオルで手を拭く園児が一人。その子の足元にお友だちのタオルが一枚落ちていた。するとその子は、タオルを拾い上げ、お友だちの名札のついているフックに掛けその場を離れていた。

何げない光景ではあるが、人と人が関わり共に生きて育ち合うことのできる私の環境である。いつの時代も人と人は関わり合って生きて

この度の希望舞台「焼け跡から」公演は、人と人、すなわち人間を伝えてくれるもの、多くのみなさまにご覧いただければと願います。



「山里にも 焼け跡から」の子がいた



篠原 鋭一
(NPO法人・自殺防止ネットワーク風理事長)
(成田市・長寿院住職)

昭和十九年生まれ私には「戦争体験」は無い。また山紫水明の農村地帯で育ったから「焼け跡」も知らない。

けれど敗戦による経済苦は、山里の村にまで襲いかかり、どの家も貧しかった。田舎の小学校に給食

など無く誰もが弁当持参している。けれど、午前中の授業が終ると必ず幾人かは運動場の水飲み場に走った。弁当の無いものは水を腹を満たすしかない。私も...

なつかしい仲間たち



山田 洋次
(映画監督)

ぼくの古い仲間である「希望舞台」の仲間たちが、同じようにぼくの昔からの友人である西村滋さんの作品を劇化すると聞いて、胸がわ

図画工作の授業が始まると用務員のおばあちゃんが煮て下さった小麦粉が、小さく切られた新聞紙にひと匙ずつ分けられていく。ノリの代用である。それを見計らっていつもすばい動きを始めるのは常男ちゃん。みんなの机の上に乗っているノリのかたまりをひとさし指でチョッチョッチョと嘗めてまわるのだ。けれど二クラス四十四人のクラスメイト誰一人、常男ちゃんを責めなかった。どこか遠い町に住んでいたが、家が家族も失い、おじさんにひきとられたという。けれどおじさんも戦地から引き揚げた傷病兵。極貧の生活を知っていたからである。実は常男ちゃん、焼け跡からやってきた二人だった...

同じような境遇の正子ちゃんが、

卒業式目前にどこかへ行くという。まだ軍人服を着ておられた水島先生が駅まで見送りに行くことを聞いたクラス全員が先生について行くことを決める。

正子ちゃんの行先を誰も知らない。大粒の涙を落しながら「見送りに来てもらって、おおきに(ありがたい)と」と二声残して蒸気機関車が引く三等客車に乗った正子ちゃんにみんなが「さいなら」と手を振ったのは、列車が小さくなった頃の事。焼け跡から来た常男ちゃんも正子ちゃんもどこに行つたのだろうか？生きてるのだろうか？

希望舞台の新作は「戦争孤児」はどのように生きたかを見つめることがテーマであると聞いて、山里の村にも「焼け跡から」来たクラスメイトがいたことを伝えたいと思つた...

今、この新作はとても重要な舞台だと思えてならない。「焼け跡を見る目」が近づいているかも知れないと思うからである。

苦しみを知っている人にだけ表現できる涙と笑いの世界を視覚化することが出来るのだ、と確信します。重苦しい舞台をつくるのはそんなに難しいことではありません。囲炉裏の火のように暖かくて、凍りついた心がゆつたりと解けていくような、そしていつか観客の表情が明るく頬笑むような、そんな楽しい舞台になることを心から願っています。

交通アクセス



●電車をご利用のお客様

JR 成田線「成田駅」または、京成電鉄「京成成田駅」下車。成田市コミュニティバスまたは千葉交通イオンモール直通バス、タクシーをご利用ください。

●お車をご利用のお客様

東関東自動車道 成田インターより5分
駐車可能台数 400 台 (年末年始および特定日以外無料)

●バスをご利用のお客様

【成田市コミュニティバス】
「京成成田駅東口」または「成田市役所」より 【所要約 10 分】
「文化会館」下車。
【千葉交通 イオンモール成田行路線バス】
「京成成田駅」6 番のりばより 【所要約 10 分】
終点「イオン成田店」バス停下車、徒歩 10 分。